

平成 23 年 7 月 20 日

**放射性物質が検出された稲わらを給与した可能性のある
牛の肉の富山県内の流通について (第 4 報)**

平成 23 年 7 月 19 日 (火)、新潟県から暫定規制値を超えて放射性セシウムが検出された宮城県産の稲わらを給与された可能性のある牛の肉が富山県内の食肉卸業者へ入荷されていた旨、連絡がありました。調査したところ、いずれも全量消費済でした。

なお、現時点でこれらの牛肉の残品はなく、放射性セシウム汚染が暫定規制値を超えているかどうかは不明です。

事例 1 個体識別番号 12489-53950 (新潟県産 24 頭のうちの 1 頭)**【流通状況】**

5 月 10 日と畜 長岡市営食肉センター
↓
長岡市内の食肉卸売業者
↓
5 月 20 日入荷 射水市内の食肉卸売業者 (4.8 kg)
↓
5 月 20 日入荷 高岡市内の食肉卸売業者 (4.8 kg)
↓
5 月 21 日入荷 高岡市内の飲食店 (4.8 kg)・・・全量提供済

事例 2 個体識別番号 12509-32455 (新潟県産 24 頭のうちの 1 頭)**【流通状況】**

5 月 23 日と畜 長岡市営食肉センター
↓
長岡市内の食肉卸売業者
↓
6 月 3 日入荷 石川県内の食肉卸売業者
↓
6 月 6 日入荷 氷見市内の食肉販売店 (11.3kg)・・・消費者へ全量販売済

○今後の対応

今後も食肉の流通状況について、国や関係自治体と連携し、情報収集に努めてまいります。

※ 報道機関へのお願い

本件に係る販売店への取材には、ご配慮いただきますようお願いいたします。